

喜友名正さんの労災認定を 支援する会 ニュース

第5号

2008 年 9 月 26 日発行

発行責任： 支援する会事務局
原子力資料情報室・ヒバク反対キャンペーン

9 月 1 1 日 第 2 回中央行動 署名提出 15 万 4 7 1 5 筆 (累計)

市民 4 0 名、議員 4 名が結集 喜友名末子さんを先頭に、早期認定を迫る

9 月 1 1 日、第 2 回中央行動を持ち、全国から寄せられた「喜友名さんの悪性リンパ腫を労災認定せよ」の追加署名 6 万 1 2 4 6 筆 (累計 15 万 4 7 1 5 筆) を背景に、遺族の喜友名末子さんを先頭に労災認定を迫りました。

「市民と議員の院内集会」には、4 0 名を超える支援者が参加し、喜友名末子さんの決意表明を皮切りに、浜岡原発で働き白血病死したわが子の労災認定を勝ち取った嶋橋美智子さんを始め 6 団体・個人が支援の活動・意見表明を行いました。また、あわただしい情勢の中、4 名の国会議員が参加し、支援を表明されました。

交渉には厚労省から職業病認定調査官ら 3 名が出席しました。冒頭に署名を提出し、早期認定を求めました。続いて交渉の到達点の確認を行いました。(資料参照)

喜友名末子さんは、「人が放射線をあびること自体からだに悪いことは厚労省もわかっていると思う。家族がどんな苦しい思いをしているか、考えてほしい。私たち家族は、国が憎い。一日も早く労災認定をしてほしい。」と涙ながらに訴え、厚労省は「重く受け止める」と答えました。

検討が長引いていること、今後の見通しなどについて、厚労省は概略以下のように回答しました。

①疫学調査の文献レビューと疫学的評価、診断の根拠・病状の経過など医学的検討を平行して進めてきた。主として文献レビューに時間を要している。放射線の他には問題になっていない。
②労災補償制度の労働者保護の原則は認める。疫学調査のみではなく、総合判断する。
③次回検討会で、とりまとめを行う。報告書案の検討ができるよう努力す



——— 厚労省の担当者に署名を提出する喜友名末子さん 2008 年 9 月 11 日 ———

る。開催は 1 0 月上旬の見通しである。④このように多数の署名が集まったことは検討会委員にも伝える。⑤認定基準の例示疾病の追加に関しては、検討会年度内開催に向け、検討対象とすべき疾病につき調査検討中である。

署名をさらに全国に広げ、早期認定をかちとろう！

15 万 4 7 1 5 筆の署名は主に、地元沖縄を始め、広島・長崎、九州から北海道までの原発立地点、都市部の東京・大阪・兵庫などから寄せられました。今後も継続して取り組みます。周辺に拡げるなど、ご協力お願いします。

喜友名末子さんから、支援の皆様へ

2008年9月18日

こんにちは、喜友名末子です。原発で被曝し悪性リンパ腫で死亡した喜友名正の労災認定を求めて、9月11日、支援者の皆さんとともに、市民と議員の院内集会、署名提出、厚生省交渉を行い、全国からの署名を提出しました。皆様から寄せられた暖かい、ご支援に厚くお礼を申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

今は亡き主人、喜友名正は原子力発電所で被曝し、悪性リンパ腫で亡くなりました。労働基準監督署に労災を申請しましたが却下されました。厚生労働省で労災について新たに検討が始まりましたが、1年以上も認定されない事が私には解らないです。

白血病と同じ血液の病気です、しかも白血病の3倍を超える被曝をしていることが解り、白血病以上の病気だと思います。放射線を浴びること自体病気になります。主人が病気になってからは私は言いました、あんなに反対したのに、危ないから放射線漏れの仕事は、辞めてって、いつもこの仕事の話しになると喧嘩でした。私はすぐに労災だと思いましたが看病のため手続きが遅くなりました。看病に必死でした。沖縄県立中部病院では病名が不明熱と診断され、入院して3ヶ月

も病名が解らなく、琉大病院に紹介状をお願いし入院して、一週間で病名が悪性リンパ腫と主治医から伝えられ、亡き主人は、ぼうぜんとしていました。

それから、会社に病名を悪性リンパ腫と伝えました。3ヶ月後には、失業保険の手続きの書類が送られて来て、亡き主人に見せました。私は亡き主人に言いました「病気になるのと退職させられるの?」。入院している間はできるはずの傷病手当の手続きも出来なくなりました。会社は都合のいいように勝手に退職させたのです。

私は亡き主人が原子力発電所で仕事をする事自体に反対でした。私自身病院に勤めをしている為、放射線がいかに怖い物であることはよく知っているからです。

人間が放射線を浴びること自体が身体に悪いことは厚生労働省もよく分かっていると思いますが、放射線を平気で人間に浴びせていること自体おかしいです。家族の身にもなってほしい。どんなに、苦しい思いをしているか、考えて欲しい。主人を亡くした私たち家族は、国が憎い。一日も早く労災認定をお願いします。

当日の資料 1 これまでの交渉の到達点の確認

事 項	厚労省の回答
①悪性リンパ腫は白血病類縁の疾患であり、放射線起因性がある。	確認できる
②私たちは放射線被曝による悪性リンパ腫の増加を示す疫学調査について資料として提出している。「検討委員会」でもこの資料を含めて、文献レビューによらずしっかり検討することを求める。	主張は理解している
③悪性リンパ腫の被曝補償は世界のすう勢である。	事実として認める
④喜友名さんの被曝線量は白血病認定基準の3倍を超える。	確認できる
⑤喜友名さんは過酷な被曝作業に従事していた。	確認できる
⑥提出した申入書、資料をすべて検討会の資料として配布する。	確認できる
⑦白血病類縁疾患を例示に加えることについて検討会を開く。	今年度開催する
⑧長尾裁判の判決に影響されることなく、労働者保護の労災認定を行うこと	判決に関係なく法・制度に基づき進める

このほかの、当日の申し入れ書、質問書などはヒバク反対キャンペーンのホームページに掲載しています。

URL : <http://www1.odn.ne.jp/hibaku-hantai/>